



名古屋部会(第13回)

日時：	2017年10月7日(土) 15:05 ～ 17:30
場所：	椋山女学園大学星が丘キャンパス(名古屋市千種区)
参加者：	中学校・高等学校・大学の先生方など7名が参加した。

【内容要旨】

第13回の名古屋部会を経済分野の授業の展開や教材の紹介、カリキュラムの検討を目的に開催した。最初に経済教育ネットワーク理事長の篠原総一氏(京都学園大学学長)より夏休み経済教室の実施状況や今後の全国各地での活動予定についてご紹介頂いた。

続いて授業実践の発表が行われ、佐藤央隆氏(名古屋市立はとり中学校)が「中学校社会科歴史的分野における租税教育の授業実践」をテーマに発表した。「<実践1> 織田信長と豊臣秀吉による租税制度について考えてみよう」と「<実践2> 市民革命から租税負担を考えてみよう」という二つの実践により、租税の使途や徴税方法等の租税制度の歴史的な変化を「公平・中立・簡素」の観点から理解する学習に取り組んだものである。生徒には課税を無条件に受け入れるのではなく、租税の使途との関係でその妥当性を判断することなどについての理解が深められた。質疑応答では「公平」「中立」「簡素」のうち、特に「中立」の概念について中学生に理解させることの難しさや財政破綻への危惧等の現在の税制に通じる展開の方法について活発な議論が行われた。

引き続き、名古屋部会の活動の方向性等について協議した。名古屋部会の参加者だけでなく夏休み経済教室の参加者も減少していることから対応について意見交換を行い、①開催場所、②日程、③内容の観点から改善策を検討した。①開催場所に関しては、現在の椋山女学園大学星が丘キャンパスは名古屋駅から地下鉄・徒歩で約30分程度はかかるため、名古屋駅や栄周辺でよい会場があればそちらでの開催を検討する。②日程に関しては、これまでは当日の参加者の都合で決めていたが、今後は欠席者の都合を反映するために「調整さん」を利用して参加者の多い日程で開催する。③内容に関しては、参加者の優れた授業実践について議論し、より改善することで多くの先生方に授業ですぐに使える内容に発展できるようなものとする。という改善策を行うこととした。また、参加者を増やすために、特に若手の教員に積極的に声を掛けることとした。

次回については12月16日(土)に場所は検討の上で開催することとした。

文責： 水野 英雄

補足：別の会場が確保できなかったため、椋山女学園大学星が丘キャンパスで開催することにした。また、「調整さん」で確認して12月16日で参加者が少ない場合には、日程は変更する。

次回開催予定： 2017年12月16日(土) 15:00 ～17:00

場所は椋山女学園大学星が丘キャンパス(名古屋市)。

議題は、教材の紹介や経済教育の進め方に関するディスカッションほか。